

17
mon

相剋と相生 (Inter-regulating and Inter-promoting)
五行説で、木は土に、土は水に、水は火に、火は金に、金は木にそれぞれ剋つとされること。

五行説で、木は火を、火は土を、土は金を、金は水を、水は木をそれぞれ生じるということ。

相剋の中の相生

土は木の根が張ることでその流出を防ぐことができる。水は土に流れを抑えられることで谷や川の形を保つことができる。金は火に熔かされることで刀や鋸などの金属製品となることができる。木は刃物によって切られることで様々な木工製品に加工される。火は水によって消されることで一切を燃やし尽くさずにすむ。

相生の中の相剋

木が燃え続ければ火はやがて衰る。燃えた時に出る灰が溜まり過ぎると土の処理能力が追いつかなくなる。土から鉱石を採りすぎると土がその分減る。金に水が凝結しすぎると金が錆る。水が溢れ続ければ木は腐ってしまう。

18
tue

19
wed

20
thu

21
fri

sat

sun

ミホリトモヒサ / A Piece of GITAI
<https://mihori-apg.work>

mon

Oct
11
tue

11
wed

13
thu

14
fri

15
sat

16
sun

ミホリトモヒサ (Tomohisa MIHORI) 個展

位相 / 相剋と相生

2022年10月11日TUE ————— 10月21日FRI

12:00 ~ 18:00 日・月曜日休廊

最終日は17:00まで

